

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第122号 2026年2月20日



「雪の畑でつなぐ和寒の暮らし」
P7 今回の表紙

P 2 特集 地域おこし協力隊

P 4 こんなことが決まりました 補欠選挙で新たな顔ぶれ

P 8 一般質問 1 議員が登壇

P 12 町民インタビュー聞かせて 子育て連・こども食堂

地域おこし協力隊

和寒町は地域おこし協力隊制度を平成22年から活用し、これまで12名の隊員が活動してきました。現在4名が活動中で、町から委嘱を受けた1名が協力隊のサポートをしています。協力隊が任期を終えたときに町内で就職・起業をし、定住できるよう課題解決に向け広報委員が取材しました。



さくらい かおり さん
櫻井 香里 さん

“食”を通して
ふくしのまちづくりを推進

活動 R7.9月～（1年目）
転入前 東京都中央区
趣味 料理・道の駅めぐり



なかみつ さわ さん
中満 紗和 さん

Instagram等のSNSを
活用して町の魅力を発信

活動 R7.4月～（1年目）
転入前 熊本県山鹿市
趣味 旅行



ふじい くみこ さん
藤井 久美子 さん

子育て支援・居場所づくり
R7.5月「きらっと」開設

活動 R6.4月～（2年目）
転入前 旭川市
趣味 カラオケ・映画鑑賞



たなか たくみ さん
田中 匠 さん

新規就農を目指して
技術・ノウハウを習得

活動 R6.3月～（2年目）
転入前 大阪府柏原市
趣味 家庭菜園・柔道



みよし けいすけ さん
三好 圭輔 さん

町から委嘱を受けて
協力隊をサポート

戸惑いと志を胸に地域と一緒に歩む

地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化などの課題を抱える自治体において、地方での就業や暮らしを望む都市部の意欲ある人材を町おこしの一員として迎え入れる制度で、平成21年度に総務省によって創設されました。最長3年間の任期に、地域ブランドの育成や活性化、農林水産業の振興など、多岐にわたる地域協力の活動を行います。

協力隊の活動費は、国からの特別交付税で支援されます。和寒町の協力隊は、これまで任期終了後の定住・定着がほとんどなく、令和6年から三好圭輔さんがサポーターとして協力隊の活動を支援しています。

Q 和寒に来て意外性を感じたことは何ですか？

田中 農業が思ったより難しいと身をもって体験しました。

藤井 高校卒業まで和寒にいたのでタイムスリップした感じでした。和寒の良さを改めて実感したので、より良い町にしていきたいと決意しました。

中満 福岡では毎日すし詰め状態で目まぐるしかったです。和寒では人の温かさをすごく感じ、丁寧に味わえる暮らしをぜひたくに感じていきます。

櫻井 東京に住んでいた頃はスピード感が苦しかったです。和寒に来て、丁寧にゆっくり暮らしています。都会で苦しんでいる子どもたちがいっぱいいるから、そこだけが世界じゃないよって皆に伝えたいと思います。

特集

4人の挑戦と日々

まちで頑張る



▲それぞれの想いを胸に地域と歩む仲間たち（わっさむ冬の収穫祭にて）

Q 協力隊の定着に対して足りないことはありませんか？

櫻井 移住前に紹介された住宅の設備が古く感じて、子どももいるので家探しが大変でした。

田中 「ここの家空いてるよ」と言われても情報がなく、所有者が分からないので、空き家バンクに登録されていれば移住者も家を探しやすいと思います。

また、農業の関係で、他町では先に第三者継承先を提示する所もありますが、私は研修しながら継承先を探しているので常に不安を感じています。ある程度就農先が決まっていると、人が来やすくなると思います。

Q 活動中の町や受入れ先のサポート体制はどうですか？

田中 活性化センターでハウスを借りてトマトを栽培、販売して自分の資金にできる制度は、自分の経営の縮図として見られるのでありがたいです。

藤井 担当の保健福祉課長が心強く、本当にやりたかった子どもの第3の居場所「きらっこと」ができて良かったです。

櫻井 今後、和寒で採れた野菜を使った飲食店をやりたいのですが、空き店舗探しも一苦労で、補助金がありません。補助金の充実している自治体もあるので比べてしまいます。

中満 私の活動は町のPRや情報発信なので結果や影響が分かりづらく、担当職員の方が親身になってくれたらいいと思います。和寒に興味を持って来られたときには、この町で楽しんでいただきたいと思います。

「担当課が複数に分かれているので、対応が縦割り行政に感じる」との意見もありました。

議会ではこれまで、先進的な自治体を視察し、町に対してサポート体制の充実を要望していますが、今後も研究・提案していきます。

2月28日（土）11時～13時 交流施設ひだまりで地域おこし協力隊による「ふれあい感謝祭」が開催されます。詳しくは中満隊員のInstagramから



定数9名で若手・女性議員増に

政策の多様化と充実へ挑戦



▲小野田議長と石田副議長のもと、新たな体制で議論の活性化や多様な政策提言を目指します

1月23日開催の第1回町議会臨時会で議長選挙のほか、常任委員の選出等を行い、1月29日開催の第2回町議会臨時会で副町長の任命を行いました。



ながさわ ゆうこ
長澤 裕子 議員
川西 (55歳)

議員になったきっかけは

身近な困りごとや不安の声を見聞きし、何かできないかと思い。

どのような活動をしていくのか

日々の声を受け止め、町のしくみへつなぎ、見えにくい声も大切に。

自己紹介

和寒町に住み10年。ひだまりで働きながら彫刻制作を生業とし、地域活動や教育にも関わっています。話を聞くことを大切にしています。



さいとう ゆうき
齊藤 祐揮 議員
三笠 (34歳)

議員になったきっかけは

若年層のリアルな意見を議会に町に届けたいという思い。

どのような活動をしていくのか

『誰かが』ではなく『誰もが』住みやすい町づくりのため尽力します。

自己紹介

34年間、和寒町で暮らし、バイシクルショップサイトウで自転車とストリートアパレルを販売しています。お気軽にご意見をお聞かせください。

1月12日に告示された町議会議員補欠選挙(欠員2名)で、2名が無投票当選しました。

補欠選挙で新たな顔ぶれ

※長澤議員は通称を使用し議会活動を行います

就任あいさつ
議長 小野田久美子



この度の町長選挙では、前議長の中原浩一氏が当選し、議会議員補欠選挙では2名が当選されました。議員定数9名に対して50歳代以下の議員が7名となり、若返りました。

物価高騰、人口減少、子育て、農業・商工業などの課題が山積していますが、議会議員がお互いを尊重し、協調し、研鑽を重ね、議員一丸となって課題・問題解決に向けて一生懸命努めます。

町民のみなさまの福祉の向上のために、令和の時代にあつた風通しの良い、信頼される議会を目指します。

1/23 第1回 町議会臨時会
議長選挙

○議長選挙の結果(投票数9票)

小野田 久美子 8票
白票 1票

消防事務組合議会議員選挙

士別地方消防事務組合議会の補欠選挙は、池澤議員の指名推薦により小野田議長が当選しました。

1/29 第2回 町議会臨時会

副町長の任命

辻博幸副町長の任期満了に伴い、後任に加藤総務課長を任命することに同意しました。



かとう しんいち 加藤 真一 副町長

委員会構成が変わりました

総務経済常任委員会

委員長 窪田裕二
副委員長 村岡敏一
委員 石田利美、酒向勤、池澤哲也、遠山優太、長澤裕子

議会運営委員会

委員長 酒向勤
副委員長 池澤哲也、石田利美、窪田裕二

議会広報委員会

委員長 遠山優太
副委員長 斉藤祐揮
委員 村岡敏一、池澤哲也、長澤裕子

議会活性化等特別委員会

委員長 池澤哲也
副委員長 遠山優太

議会選出監査委員

村岡敏一

(変更箇所は太字)

退任あいさつ
前議長 中原浩一



一身上の都合で12月16日をもって議員を辞職します。

平成15年に初当選させていただき、和寒町の農業、そして未来を良くしたいと活動した日々が思い出されます。

22年間、議員活動を続けてこられたのも、同僚議員、職員の皆様方に支えられてきたからです。

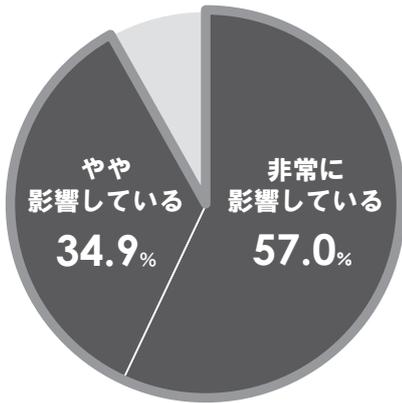
今後も地方自治を取り巻く環境は非常に厳しいものがありますが、和寒町の発展と町民の生活、福祉の向上に邁進され、和寒町がこれからも良くなる状況にしていただければと思っております。

物価高の影響が大きい子育て世帯へ

応援手当支給

12月 定例会

Q. 最近の物価上昇は、あなたの家計にどの程度影響していますか？



子育て世帯の**91.9%**が物価上昇が家計に「影響している」と回答

出典：ライフネット生命調べ※



▲物価が上がる中、家計への支援は本当に助かります
迅速な対応で、町には感謝の気持ちでいっぱいです
加藤 大さんご家族（三笠）

第4回定例会を12月15日に開催しました。
行政報告のあと、1名の議員が一般質問し条例改正
や補正予算等の審議を行い、全て原案のとおり可決
しました。

子ども一人へ 2万円

子育て応援手当
(700万円)

国の施策により、物価高の負担感が特に大きい子育て世帯への負担軽減を図る応援手当を支給します。

平成19年4月2日から令和8年3月31日生まれの方が対象で、支給額は一人につき2万円です。

総合体育館・木質バイオマス施設の指定管理者の指定

令和8年4月1日から5年間、和寒町スポーツ協会が総合体育館ほか6施設（農村環境改善センター、総合運動公園屋外体育施設、B&G海洋センター、研修館楡、片栗庵、ふれあいのもり）、和寒環境整備事業協同組合が木質バイオマス燃料製造施設の指定管理者に指定されました。

有害鳥獣捕獲

(150万円)

エゾシカの捕獲が増えているため、捕獲奨励補助50頭分（1頭3万円×50頭＝150万円）を増額します。

Q 物価高の影響による補助額見直しの考えは。

A 猟友会からは燃料費、弾代ともに値上がりしているとのこと。

本町の補助額は管内の他自治体と比較しても非常に高い金額となっているが、今後猟友会とも相談し考える。



▲農作物・生態系保護のため効果的な駆除を

※出典：ライフネット生命調べ『子育て世帯における物価上昇と食費に関するアンケート調査』（2025年8月19日公表）誌面の都合上、再構成・再デザインしています。原典はこちらを参照ください。

これの大樹祝金

令和6年3月定例会で条例改正し、喜寿（77歳）のお祝いを商品券に変更しましたが、条文中表記が「祝金」のままだったため「祝金等」に改めます。

Q 町民からは金額や贈呈方法に疑問の声も多く、条文に「和寒町商業振興協同組合発行の商品券」と規定され使いづらくしており、見直すべきではないか。

A 町政懇談会等で贈呈の仕方自体に「町としての心が見えない」と伺ったので、今後見直す。町では「和寒町商業振興協同組合発行の商品券」以外に取り組んだ経過がないため、すぐに変更するのは難しい。

討論

反対 討論なし

賛成



酒向議員

77歳は元気な方がたくさんいて、本町の将来の発展の一助と

なるよう町内でお金を還流していただき、巡り巡って祝金等に充てられると思いい賛成する。

人権擁護委員

人権擁護委員の候補者の推薦で、池田尊侯氏（西町）が適任者と決定しました。（任期3年）

意見書

食料・農業・農村政策確立に関する予算の拡充等を求める意見書

提出者 村岡 敏一

意見書は可決し、関係行政省庁へ提出しました。詳細はホームページをご覧ください。



令和7年度 補正予算一覧表（1万円未満切捨て表記）

一般会計	補正額	補正後の額	
		2,601万円	51億1,462万円
議会費	8万円	議員期末手当	
総務費	△52万円	簡易郵便局事務取扱員報酬ほか	
民生費	1,035万円	物価高対応子育て応援手当ほか	
衛生費	△927万円	国保特別会計診療施設勘定繰出金ほか	
農林業費	1,920万円	土地改良区決済金等支援事業補助ほか	
消防費	364万円	職員給料・職員各種手当ほか	
教育費	52万円	会計年度任用職員報酬ほか	
給与費	200万円	職員給料・職員各種手当ほか	
国保	保険事業勘定	918万円	5億3,388万円 子ども・子育て支援金制度対応システム改修業務委託ほか
	診療施設勘定	266万円	2億4,673万円 職員給料・職員各種手当ほか
	後期高齢者医療	870万円	8,490万円 保険料等負担金ほか
介護	保険事業勘定	380万円	5億8,355万円 介護予防・生活支援サービス事業費ほか
	サービス事業勘定	77万円	2億4,872万円 職員給料・職員各種手当ほか
	簡易水道事業	45万円	1億6,250万円 職員給料・職員各種手当ほか
	下水道事業	26万円	1億6,685万円 職員給料・職員各種手当ほか

今回の表紙

今回の表紙は三笠在住、農業を営む太田和成さんのキャベツ収穫作業の様子です。

作付面積は2ヘクタールで、昨年の10月下旬からほぼ毎日キャベツの収穫や選果・出荷作業が続くと話す和成さん。作業は妻の利早さんと、両親の4人で行なわれていきます。

「昨年の12月は雪が少なく、凍結の心配もありましたが、無事に凍結することなく、良い品質を保つことが出来てほっとしています」とお話ししてくださいました。出荷は2月末頃まで続くとのことでした。



一般質問 町政を問う。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり執行機関（町長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めます。まちづくりの指針でもある総合計画の、どの項目に対して質問をしているのか一覧表にしました。

あみかけ 項目を要約して掲載します。



質問議員	第6次総合計画		質問事項
	項目	ページ	
遠山 優太 議員	公共交通	73	地域公共交通の再設計と利便性向上は ふるさと納税の強化と専任化は
	まちづくり	88	

○再質問
ハイヤー利用券は、初乗り料金補助のみで、遠距離では使いにくく農村地区の方の購入率も低い。地域や距離で購入率や自己負担額に大きな差がない、公平性の高い外出支援の検討は。

バスは1日平均6・2名、ハイヤー利用券の購入率は約20%と利用が進んでいない現状である。制度を含め、類似の事業を行う自治体の情報収集に努める。

奥山町長

本町は、日常の移動確保に予約方式のデマンドバスや、あでかけハイヤー支援事業を実施しているが利用者は低迷している。町民の安心できる暮らしに「地域公共交通」は不可欠であり、持続可能な仕組みと制度の再設計について見解は。



とやま 遠山 優太 議員



問 地域公共交通の再編は

答 制度等の再検討をしていく

保健福祉課長

制度の検討をしていきたい。

○再質問

バスやハイヤー等の、時間外の限定的な運行を見直す考えは。

副町長

現状で事業の拡大は難しいが、今後の地域課題として重要であると考えている。

和寒町高齢者 利用券
おでかけハイヤー
【おでかけハイヤー利用券とは】
お乗り運賃分を1枚300円で利用できる券のことです。
① 1乗(6枚つづり1,800円)で販売しています。
② ひかり号線まで購入が可能です。
③ 有効期間 毎年4月1日～翌年3月31日。
対象者 75歳以上で、和寒町に住所を有し、居住している方

詳しくはこまびろ



議員と商工会女性部が意見交換



▲物価高による商工業・農業への補助など活発な意見交換となりました

空き店舗活用・若者の定住促進で活性化を

11月18日、商工会女性部と意見交換会を行いました。

内容は、こちらからご覧ください。



行きたいと思っても
らえるまちづくりを

Q 商工会女性部では夏の期間、和寒駅に花壇を設置・管理しているが、きれいにしてもごみやクワサン(大きな蛾)もひどく、トイレも汚い。駅は町の玄関口のため、清掃費だけでも予算付けできないか。

A 駅トイレの件は、各議員が様々提案してきましたが、前向きな回答は得られていません。清掃費に関しては予算委員会等で町へ要望します。



▲議場で商工会女性部のみなさんと

ほかにも空き店舗の活用、特産品の開発、若者の定住促進や雇用確保、新たな福祉施設、加工センターの存続希望、墓地の草刈りなど内容は多岐にわたりました。

いただいたご意見・ご要望は、今後議会で検証し町政に反映できるよう努めます。

議会広報モニターの声

議会だより121号
令和7年11月発行



アンケート
回答内容



多くの情報を伝えたいのは理解できますが、内容を詰め込み過ぎて複雑な印象を受けました。

ページ数があればこれと満載で多すぎましたが、何度も読み返すうちに新たな発見がありました。

121号の決算は予算につながる内容であり、一般質問の追跡は答弁をした町が、どう対応したか丁寧にわかりやすくお知らせするため、ページ数が多くなりました。

今後は内容を精査し編成を考えます。

Topic議会 行政視察受け入れ

増毛町議会

10月21日、増毛町議会が本町の議会広報誌について視察にられました。

議会広報誌の企画・編集体制（委員会の構成、役割分担等）、特集記事の企画立案の方法と取材の進め方、デザイン、レイアウトに関する工夫、読者（住民）からの反響や収集方法、現在の校正に至るプロセスについて質問がありました。

本町の議会広報誌は誌面の役割分担を明確にし、広報委員が足を運んでの取材やデジタルを駆使し制作しています。

今後も議会報告会や議会広報モニターからの感想や意見を伺いながら、議会を身近に感じ、わかりやすく、興味が持てる誌面づくりを目指します。



▲広報モニターに関心を寄せていました

増毛町 留萌南部（留萌市に隣接）

- 人口：3,522人 ■高齢化率：45.6%（令和7年12月末）
- 基幹産業：農業、漁業
- ふるさと納税額：4億9千万円（令和6年）
- 議員定数：10人 ■議員報酬：195,000円

議会広報誌の編集方法



▲町職員によるふくしのまちづくりの説明がありました

鶴居村 釧路北部（釧路市に隣接）

- 人口：2,368人 ■高齢化率：34.7%（令和7年12月末）
- 基幹産業：酪農、農業
- ふるさと納税額：1億4千万円（令和6年）
- 議員定数：9人 ■議員報酬：221,500円

鶴居村議会

10月22日、鶴居村議会が本町の新たな福祉施設の整備計画について視察にられました。

本町のふくしのまちづくりプロジェクトの経緯や内容、新たな福祉施設の整備計画や運営方法、議会による審議や調査について説明しました。

鶴居村では病院の休止、特養の存続危機、人口減少の懸念などの課題があり、今後の方向性を検討するため、ふくしのまちづくりに注目されたようです。

本町の後期高齢化率（75歳以上）は全道10位の29.9%に対して、鶴居村は155位の18.4%。

ふくしのまちづくりは注目度を増して、視察来町の増加が予想されます。

人口流出を食い止める施設

※和寒町の高齢化率（65歳以上）は46.7%（令和7年12月末）



12月7日、公民館で子ども会育成連絡協議会（以下「子育て」と、
 ことも食堂が共催して実施した事業
 を取材してきました。



子育ての石田会長に

年賀状はどなたに？

今年子どもたち56名
 が、75歳以上の一人暮らし
 176名の方に年賀状
 を書きました。

一人当たりの書く枚数
 は増えていますが、返信
 をくださる方も多く、意
 義の深い事業です。



餅つき賑わってますね。

近年は家庭や地域での
 イベントもなくなり、餅
 をつく機会がありません。
 今回はことも食堂のご
 協力で実現し、石臼と杵
 で体験できました。

ことも食堂の瓜会長に

参加者多いですね。

今回は総勢約120名
 が来てくれました。準備
 する私たちも気合いを入
 れて頑張っています。



食材の用意はどのよう
 にしていますか？

町内の農業者からと、
 和寒町稲作振興協議会様
 からななつぼし60キロ、
 JA北ひびき様から社会
 貢献としてもち米30キロ
 を提供いただきました。



参加したみなさんに



餅つきどうでした？

初めて杵を持ったので
 餅じゃなくて石臼に当た
 って大変だった。
 もう少し長い時間つき
 たかったな。

お味はどうですか？

きな粉餅と、かぼちゃ
 の天ぷらがおいしかった
 です。かぼちゃはやっぱ
 り和寒だね。

交流の場になりますね。

本来のことも食堂は貧
 困対策ですが、ここは食
 を通しての交流の場を提
 供してくれているので、気
 軽に楽しく参加できます。

広報委員の一言

立春を過ぎても寒さは厳し
 いですが、雪の下で甘みを蓄
 えた「越冬キャベツ」の出荷
 が、私たちに地域の活力を届
 けてくれます。

さて、1月の議員補欠選挙
 を経て、議会に新たな仲間が
 加まりました。新体制のもと、
 住民の皆様の声により深く耳
 を傾けてまいります。

5月からは誰もが安心して
 暮らせる「ふくしのまちづく
 り」の拠点施設建設に向けた
 整備が始まる予定です。

地域の宝を慈しみ、新たな
 風を力に変え、希望ある未来
 の建設に向けて議会一丸とな
 り邁進する所存です。（敏一）

議会傍聴のご案内

定例会の予定
3月4～6日
3月10～11日・3月17日

みなさまのお越しをお待ちしています

12月定例会の傍聴者
3名